

かながわの交通

2021
1月号

交通安全年間スローガン受賞作品（内閣総理大臣賞）
～一般部門A～運転者（同乗者を含む）へ呼びかけるもの～

ゆとりある 心と車間の ディスタンス



謹
賀
新
年

富士山

（小田原市曾我別所）



道路横断には気をつけて！

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵！ 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

◎県内の交通事故発生概況（令和2年12月末現在） ◎県人口・運転免許人口

年別 区分	発生件数	死 者 数	傷 者 数
令和2年	20,631	140	23,876
令和元年	23,294	132	27,392
増減数	-2,663	+8	-3,516
増減率	-11.4%	+6.1%	-12.8%

	総 数	男	女
県人口	9,216,009	4,592,141	4,623,868
免許人口	5,637,012	3,210,955	2,426,057
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人

（県人口は令和2年9月1日、免許人口は令和2年11月末現在）



ホームページ

公益財団法人
神奈川県交通安全協会

会長 石坂 浩一



新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、ご家族共々希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭、挨拶

神奈川県警察

本部長 大賀 真一



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

公益財団法人神奈川県交通安全協会の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は新型コロナウイルス感

交通安全協会の諸活動につきましては、平素から深いご理解と多大なご支援、ご協力を賜っておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

また、昨年中は新型コロナウイルス感染症の猛威の中でも工夫をこらして、県内の交通安全諸活動を推進していただきました県民の皆様はじめ、県、県警察、関係機関・団体の皆さんに対し深く敬意と謝意を表す次第であります。

さて、昨年の本県における交通事故の状況は、発生件数、負傷された方は前年に比べて減少いたしました。亡くなられた方にあつては140人であり、統計史上最も少ない昨年は上回ったものの、第10次神奈川県交通安全計画の目標150人以下を下回ることとなりました。

特に、高齢者の方は全死者数の4割を占め、その内歩行中に亡くなられた方が犠牲になられた事故や自転車利用中の事故も依然として多く発生しております。

悲惨な交通事故を防止するためには、やはり一人ひとりが基本的な交通ルールやマナーを守っていただくことが何より大切だと思います。

また、県、県警察、自治体、関係機関・団体、ボランティアの皆様方が一体となつた、地道で且つ心に訴える、県民総ぐるみの交通安全活動が重要であると再認識しているところです。

神奈川県交通安全協会といたし

染拡大の波を受け、例年開催していた「交通安全ことも自転車神奈川県大会」、「交通安全高齢者自転車神奈川県大会」や「二輪車安全運転神奈川県大会」が中止となるなど、從来と同様の交通安全業務が困難となる中、感染予防に配意しつつ、様々な工夫をされ、諸々の交通安全活動や情報発信活動に御尽力頂きましたことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、県内の令和2年中の交通事故状況をみてみると、二輪車乗車中と歩行中の事故が多いことが特徴として挙げられます。このうち、二輪車乗車中では、車両事故のほか、四輪車が交差点

を右折する際、対向から直進していく二輪車と衝突する右直事故も多く、歩行中では道路を横断中の事故が多く、歩行者が何らかの違反をしているものもあります。

このため、県警察では、二輪車運転者に対しては、「速度を控えた運転」、四輪車運転者に対しては、二輪車は遠くに見えるなど「二輪車の特性を踏まえた運転」「横断歩道における歩行者優先の徹底」等を呼びかけるとともに、歩行者に対しても、「ルールを守った正しい横断」等について、交通安全教室や各種広報媒体を活用するなど、あらゆる機会をとらえて、広く呼びかけを行つております。

ましては、本年も皆様のご協力を頂きながら各地区交通安全協会と緊密に連携し

○ 子どもと高齢者を交通事故から守る各種活動の推進

○ 自転車の交通事故防止と安全利用の推進

○ 飲酒運転等悪質運転・危険運転を根絶する活動の推進

○ 二輪車の交通事故防止に資する各種活動の推進



令和2年度交通栄誉章「緑十字金・銀章」及び 交通優良団体等表彰

金章7名、銀章25名、5団体が受章

1月27日(水)、開催予定であった

「第61回交通安全部民運動中央
大会」は中止となりましたが、

(公財)神奈川県交通安全協会推
薦の受章者(団体)は次のとおり
です。

★交通栄誉章「緑十字金章」

・交通安全功労者

・優良運転者

新春のお慶びを
申し上げます

交通栄誉章緑十字金章受章者



★優良交通安全協会

- ・ 津久井交通安全協会
- ・ 横浜水上交通安全協会

・優良運転者

徳永福次(加賀町) 望月昭(南)
大川原久(川崎臨港) 関範雄(多摩)

★交通安全優良団体

・ 大和市交通指導員大和支部

藤間英治 (茅ヶ崎地区)
大野次男 (藤沢北)
秋元和枝 (川崎臨港)
山中明 (泉)

阿部佳信 (小田原)
大木英広 (大和綾瀬)
山本輝男 (津久井)

(順不同・敬称略)

一般社団法人
横浜市交通安全協会
会長 板橋悟

一般社団法人
川崎市交通安全協会
会長 關進

一般財団法人
湘南地区
交通安全協会連合会
会長 古郡幸雄

一般社団法人
三浦半島地区
交通安全協会連合会
会長 岡昌憲

一般財団法人
常盤勇 (保土ヶ谷)
加藤了 (港北)

一般財団法人
神奈川県交通安全協会
会長 石坂浩二



令和2年度「交通安全優良学校」の紹介

◎ 横浜市立八景小学校（横浜市金沢区泥亀1-21-2）

〔沿革等〕

横浜市立八景小学校は、昭和26年7月に開校し、今年70周年を迎える学校です。

校名の由来は、当地は鎌倉時代より、歴史的な史跡の地であり、名勝地としても有名な金沢八景の地でもあることから将来の発展を予想し、末広がりの「八」の意味を含ませて八景小学校としたいきさつがあります。

教育目標は、自分らしさを發揮し、認め合い、思い合い。豊かに生きることができるように「個性」「共生」「自立」を掲げ、教員32名が410名の児童の育成に取り組んでいます。

〔功績の概要等〕

交通安全教育に関しては、教職員とPTA・地域住民と一体となり、登下校時の見守り活動や通学路の点検など熱心に取り組んでいます。

また、平成18年から開催している「金沢区自転車マナーアップ三世代大会」に第1回目から連続出場し、そのうち2回準優勝し、金沢区の代表として「交通安全こども自転車神奈川県大会」に出場し、上位入賞するなどの功績をあげています。



(第50回神奈川県大会)

◎ 横浜市立横浜商業高等学校（横浜市南区南太田2-30-1）

〔沿革等〕

横浜市立横浜商業高等学校は、明治15年(1882)に横浜商法学校として馬車道・北仲通に開校し、明治38年(1905)に南太田の現在地に移転しました。開校以来139年の歴史を刻む中、古くから「Y校」の愛称で親しまれ、地域との交流・連携活動を通じて社会への貢献も目指しています。

現在は、商業科と国際学科があり商業科には小学科としてスポーツマネジメント科、進学に重点をおいたYBCクラスが設置されています。いづれの学科・クラスも問題解決能力と国際的視野を持つ豊かな人間を育てることを目標にし、体育祭や文化祭(Y校祭)はじめ多くの学校行事が生徒主体で開催され、特にY校祭には毎年多くの方が来校されます。また国際交流や海外への研修・修学旅行も行われ、良き伝統のうえに時代の変化に対応していく学校です。

〔功労の概要等〕

歴史ある学校として、地域住民から信望も厚く親しまれており、昨年は新型コロナウイルスで中止となった「春の交通安全パレード」「さくらまつり」「南まつり」に毎年バトンワーリング部が自ら参加して、交通安全活動に協力的な参加者や見学者から好評を得ています。また地域の交通事故防止活動には学校全体で積極的に取り組んでいます。



令和3年交通死亡事故抑止総合対策

昨年の県内の交通事故情勢は、発生件数、負傷された方はいずれも前年に比べて減少しましたが、亡くなられた方は140人と過去最少であった前年を上回ったものの、それに次ぐ人数となりました。

本年も、県警察では交通事故を1件でも減らすため「令和3年交通死亡事故抑止総合対策」として

- ① 二輪車交通事故防止対策
- ② 高齢者と子供の交通事故防止対策
- ③ 横断歩行者交通事故防止対策
- ④ 自転車交通事故防止対策



の4つの対策について特に取組を強化します。

さらに、事故分析結果に基づいて対策期間を設定し、交通街頭活動や関係機関・団体と連携した広報啓発活動などの取組を強化する「県内一斉5日間対策」などを推進します。

令和2年度「年末の事故防止運動」の実施結果

■交通事故発生概況 12月11日(金)～12月20日(日)

	発生件数(件)						死者数(人)						負傷者数(人)					
	子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒		子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒		子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒	
期間中累計	756	50	284	169	214	3	4	0	2	0	0	0	895	56	164	163	195	4
前年同期比	+46	-7	+24	+19	±0	±0	+1	±0	+1	±0	-1	±0	+70	-2	+14	+19	+2	+1

2021交通安全 カレンダー

(公財)神奈川県交通安全協会では、今年も「2021年交通安全カレンダー(令和3年)」を作製しました。

表紙には、県内の主たる景勝地を紹介。

各月に交通安全スローガンや交通事故防止ワンポイントアドバイスなどを掲載し、表中には各季の交通安全運動や交通安全活動の日、交通死亡事故計上関係と県警察官の三交代制当番日を載せております。



令和3年使用 交通安全年間スローガン決定

～ 応募総数は45,337点 ～

全日本交通安全協会と毎日新聞社が主催し、内閣府、警察庁等の後援により募集している交通安全年間スローガン(令和3年使用)が決定しました。

交通関係機関・団体の関係者や学識経験者による審査の結果、一般部門A、B及び子どもの各部門で内閣総理大臣賞、内閣府特命担当大臣賞、警察庁長官賞がそれぞれ3点、子ども部門で文部科学大臣賞1点、全日本交通安全協会会长賞(佳作)9点が選ばれました。

☆ 一般部門A:運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
ゆとりある 心と車間の ディスタンス 開智日本橋学園高等学校2年 焼山美羽
- 内閣府特命担当大臣賞
まあだだよ ベルトみんなが しめるまで 群馬県安中市 佐藤三郎
- 警察庁長官賞
スピードは 視野も心も 狹くする 福島県いわき市 小林秀一
- 全日本交通安全協会会长賞(佳作)
飲む前に ハンドルキーパー 決めたかな 神奈川県相模原市 佐賀有紀子
免許証 返す勇気が 生むゆとり 高知県高知市 高橋幸歩
その先の 危険を教える ハイビーム 東京都新宿区 西村大介

☆ 一般部門B：歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
ママなんで? 赤は止まると 習ったよ 関西学院大学4年 天野瑛斗
- 内閣府特命担当大臣賞
イヤホンを 外して聴いて 町の音 福岡県粕屋郡 小野貴雅
- 警察庁長官賞
どこいくの 連れていってね ヘルメット 山形県山形市 大村 慧
- 全日本交通安全協会会长賞(佳作)
夕暮れ時 あなたを守る 反射材 静岡県浜松市 吉田知弘
交差点 青でも左右 確認を 北海道札幌市 若原 努
自転車も 心の中に 免許証 福岡県北九州市 薩山貴之

☆ こども部門：こども(中学生以下)へ交通安全を呼びかけるもの

- 内閣総理大臣賞
自転車に 乗るならきみも 運転手 埼玉県川口市立青木中央小学校4年 前 奈菜子
- 内閣府特命担当大臣賞
じてんしゃといつもともだち へるめつと 群馬県みどり市立大間々北小学校1年 相澤星那
- 文部科学大臣賞
スマホより 集中するのは 前の道 石川県小松市立板津中学校2年 河合娃里
- 警察庁長官賞
手をあげて じぶんでまもろう いのちのあいす 富山県黒部市立若栗小学校2年 大藏莉瑚
- 全日本交通安全協会会长賞(佳作)
あせらない 次の青でも いいじゃない 静岡県富士市立富士中央小学校5年 菅谷侑太
自転車も 車と一緒に その責任 富山県入善町立入善西中学校2年 本田 藍
つくろうよ 事故ない未来を ぼくたちで 青森県八戸市立湊小学校3年 五戸希武

(敬称略)

この人

166



伊藤
稔さん
会長
(財)中原交通安全協会



こんにちは 「保土ヶ谷交通安全協会」です

東海道五十三次4番目の「程ヶ谷宿」として栄えた歴史ある宿場街が保土ヶ谷ですが、近年は、正月恒例の東京箱根間往復大学駅伝競争の花の2区、勝負所の権太坂が保土ヶ谷の代名詞になっています。

丘陵地の保土ヶ谷は野菜中心の農地が広がり、横浜の食料庫とまで言われた時代もありましたが、最近は横浜のへそと言われて高層マンションが増え、西谷駅が相鉄線都心乗り入れの起点となるなど、まさに都市化の波に呑まれている状態で、どんどん緑が減って宅地化が進んでいます。

そんな保土ヶ谷区の交通安全活動を担っているのが当保土ヶ谷交通安全協会で、板橋会長以下事務長と女性パート職員3名が、交通ボランティア活動の拠点事務局として各種活動を推進しています。

今年もよろしくお願ひします。
昨年は、コロナ感染症によりオリンピックの延期、運転免許証の更新業務ストップ、そして総会も書面で対応するなど大きな影響が出ました。今後も先の見えない状況が続きますが、県、各地区の交通安全協会が一致団結してコロナ禍を乗り切り、一日も早く、皆さまとお会いできることを願っております。

今回ご紹介する伊藤稔会長は、そのような状況の中、朝山秀男前会長の後任として、昨年の五月の評議委員会に於いて、一般財団法人中原交通安全協会の会長に就任されました。

コロナ禍の影響で、思うような運動が出来ない中ではありますが、当協会の企画、運営に積極的に関わってくださっています。

伊藤会長は、地元で事業を営む傍ら、ボランティア活動も広範囲にわたっています。お忙しい日々を過ごす中での息抜きは野菜作り、自宅前の畠では、自ら耕耘機を運転しての農作業を行っています。

伊藤会長から頂くお野菜は、とても新鮮

でおいしく、職員は楽しみに収穫待っています。

またご自宅の庭でとれた夏みかんの皮で作るオレンジピールは格別!奥様のひと手間があつてこそのオレンジピールですが、手が止まらない美味しさです。

そして、もう一つの趣味が相撲観戦、「若い人が一生懸命頑張っている姿は良いね。こちらまでパワーをもらえるよ。」と若い力士の応援に力が入っています。

そんな伊藤会長の期待に応えるべく、若い我々職員は、窓口での笑顔、高齢者への丁寧な説明、そして交通安全活動に頑張っています。

中原区は平坦であるがゆえに自転車の事故が多く発生しています。今後も、中原区から交通事故を一件でもなくせるよう関係者の皆様のご指導を賜りながら、益々のご活躍をお願いいたします。

取材協力：(一財)中原交通安全協会



さて、板橋会長が常々話題とするのが『効果的な広報活動とその重要性』ですが、会長のアイデアを具現化した保土ヶ谷安協自慢の広報媒体を紹介しますと、それは、夏を除いた各季の運動期間中に警察署玄関前に飾る「交通安全提灯」です。

中央頭上に運動名の横断幕を掲げ、その左右に「交通安全」の大文字が入った巨大提灯を下げ、さらに、その左右に「交通安全」の文字入り小提灯を3段15列、左右計90個を並べて夜間はライトアップし、来署者や国道通行車(者)らに交通安全を呼び掛けているものです。区民からも好評を博してすっかり定着し、風物詩となってタウンニュース紙に掲載されるなど、大きな広報効果を上げています。

ところで、昨年は新型コロナウィルス感染禍に見舞われ、チラシ手渡し型のキャンペーン活動なども自粛を余儀なくされ、小学校での交通安全教室も半数以上が中止となりました。しかし、

今後は新しい生活と様式と同様、私たちもコロナウィルス対策を加えた新しい啓発活動を考え、工夫して構築しなければなりませんし、窓口でのお客様対応についても、感染防止を徹底してのウイズコロナ、共生しながらも活動の活性化を図らなければなりません。

そして、明るく親切な応対、積極的な活動をモットーに、ボランティアの皆様と一緒に区内の交通事故防止活動に取り組み、区民の皆様に必要とされる協会作りに尽力したいと、年頭の誓いを新たにしたところです。

(猪股 記)

こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

地区交通安全協会の活動紹介



中原 丸子橋周辺での交通事故防止キャンペーン



相模原 警察署前での交通事故防止キャンペーン



秦野市 警察署前での交通事故防止キャンペーン



厚木警察署管内 厚木中央公園での交通事故防止運動出発式

交通安全活動



山手 本牧小学校での交通安全教室



都筑 仲町台駅周辺でのハンドルキーパー運動



大和綾瀬 大和自動車学校での自転車教室



三浦市 警察署前での交通事故防止キャンペーン

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- コマツカスタマーサポート(株)東京カンパニー営業部 ━━━━━━ 川崎市川崎区東扇島
- (株)根岸の旗や ━━━━━━ 横浜市中区伊勢佐木町
- (株)オリエントサービス ━━━━━━ 横浜市都筑区牛久保西

賛助会員入会のお願い

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で快適な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。交通事故防止活動に賛同していただける「賛助会員」としての入会をお願いいたします。